9 第2回やなせたかし文化賞・受賞者展レポート

高知県にある香美市立やなせたかし記念館で、第 2 回やなせたかし 文化賞・受賞者展がありました。

大賞をいただいたぷるすあるはの「特別展示」と、「前期・後期」の 展示があり、前期はヨシタケシンスケさん、西村繁男さん、後期は 鈴木のりたけさん、長谷川義史さんと展示でご一緒しました。

他の受賞者さんたちの展示を拝見しながら.... 改めて、この賞にぷるすあるはを選んでいただいたことに驚きを感じました。こういった展示の機会をいただいたことは本当にありがたいですし、ひとりでも多くの方に「自分ごと」として作品を感じていただけたら幸いです。お越しくださったみなさまありがとうございました。

長期の展示期間、記念館のみなさまには大変お世話になり、ありがとうございました。



特別展示 9/7-10/31 記念館・別館



前期・後期 9/7 - 2/6 詩とメルヘン絵本館



特別展示、正面の壁一面に、チアキのキャンバス作品が並びます

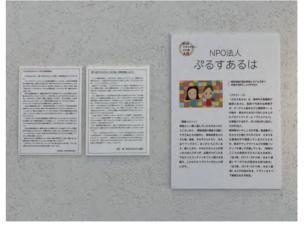


『ぐるぐる』(右)と『ぐるぐるの子どもじかん』(左)、50号の作品です



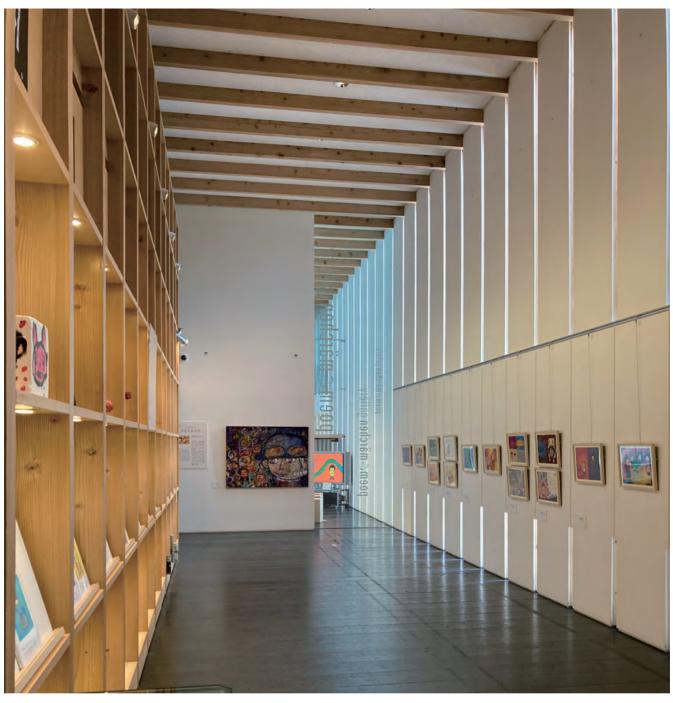


チアキのらくがき ショーケースのなかに素敵に 展示していただきました



ゆまに書房の担当編集者の高井さん、『生きる冒険地図』の 学苑社の杉本さんからメッセージをいただきました ありがとうございます(感激でした!)

ぷるすあるはの原点でもある最初の絵本『ボクのせいかも… 一お母さんがうつ病になったの一』(ゆまに書房,2012)と7冊目の絵本『発達凸凹なボクの世界一感覚過敏を探検する一』(ゆまに書房,2016)。この2冊の絵本の原画が最初のページから最後のページまで、テキストを添えて展示されました



「詩とメルヘン絵本館」での展示です 右壁には絵本のレプリカの展示、中央に 60 号の『MIRU からみる世界』… チアキのキャンバス作品では最大サイズ、迫力のある絵です 奥に少し映りこんでいるのは、前室での動画上映です。『親が精神障害 子どもはどうしてんの?』(制作:PV プロボノ)や絵本の朗読動画 が上映されました 差し込む光が大変に美しい建物でした



既刊の絵本と、ロボットや段ボールの街の立体作品の 展示、ゴマスキー もいます



絵本の下書き、ラフ 愛用のモレスキンに鉛筆、 水彩



「詩とメルヘン」は、やなせたかしさんが 1973 年 創刊から 30 年にわたって刊行してきた雑誌です 想いのこもった場所での展示 ... 光栄です



10 さいたま市絵画展レポート

ぷるすあるは絵画展&高次脳機能障害って? @さいたま市立大宮図書館

うらはらなきもちあるある

2023 年 7 月 24 日 -30 日、さいたま市高次脳機能 障害者支援センターと共催で開催しました。

夏休みに3年続けての開催で、楽しみにお待ちく ださる方もおり、恒例のイベントになりつつあり ます。

会期中、およそ 3,000 名の方が展示をご覧くださいました。

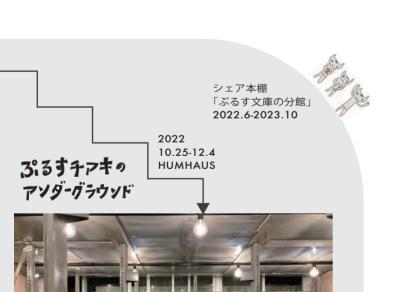
昨年同様に人気だった高次脳機能障害クイズには 約 900 人、そして工作室には 180 人の方が参加さ れました。

絵を楽しんだり、何かを感じたり、必要な情報を 得たりする機会になっていたら幸いです。

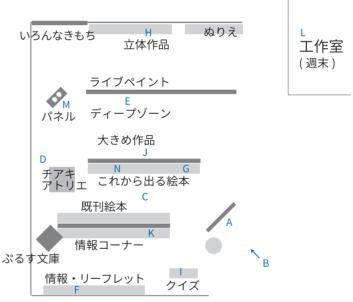
お越しいただいたみなさま、開催に尽力くださったみなさま、画面の向こうから見守ってくださったみなさま、ありがとうございました。

今年もご協力いただいた、さいたま市立大宮図書 館さまへ、ありがとうございました。



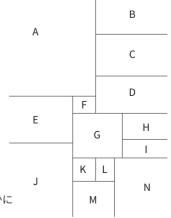


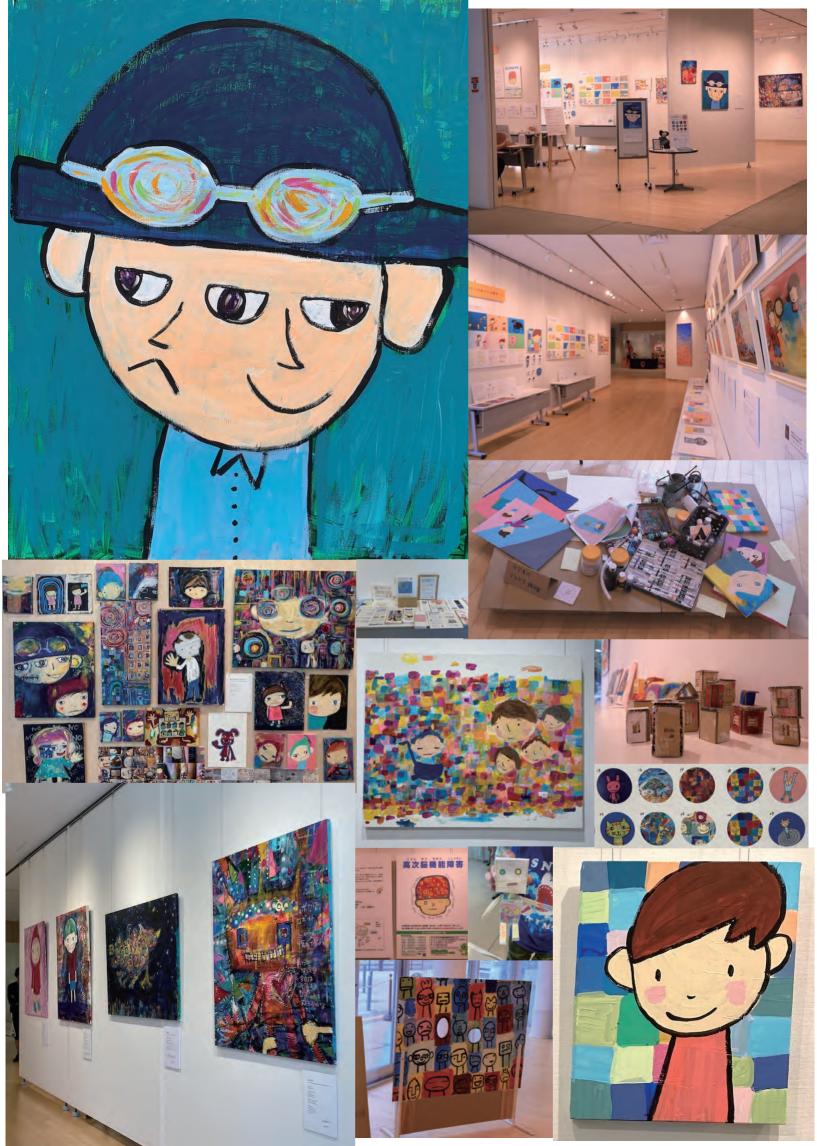




物販

- A うらはらくん
- B 外までぬける展示空間
- C 新旧絵本のコーナー
- D チアキのアトリエ再現
- E ディープゾーン
- F 家族支援情報のコーナー
- G 子どもの育ちを社会で応援
- H 段ボールの街
- I 参加賞は缶バッジとシール
- J 50 号の絵のゾーン
- K 高次脳機能障害のポスター
- L 工作室からロボットさん
- M わたしもいろんな表情のなかに
- N 新作絵本の主人公ジュン





11 役員・スタッフからのひとこと



今年はイラストブック、絵本(10期)と2冊を出版できました。制作は難しかったですが、楽しくもありました。 手に取ってくださった方の反応が気になります。

1年間ありがとうございました。 チアキ

子ども家庭庁、こどもまんなか社会、ヤングケアラー等と子ども・若者への施策や具体的な支援の動きが見え隠れしています。

本当に子どもや若者が幸せになりますように と願うばかりです。

副代表 吉岡





毎年、事業報告書を作りながら、意外とやれたこと、思うようにできなかったこと、変わらぬ課題 etcを思い返しています。

9期は、法人設立時からサポートしてくれた大切な仲間を7月にお見送りました。心から尊敬し、感謝をしています。この1年、その先の1年と、どんな報告を彼にできるやろう…と考えながら、今このひとことを書いています。

たくさんの方のサポートで、法人の10期目を迎えることができました。ありがとうございます。 代表 キタノ



精神障がいへの理解を啓発する活動が多くの企業 にも広がってきており、ぷるすの取組みの重要性 も一層増してきていると感じます。引き続きご支 援のほど、どうぞよろしくお願いします。

監事 池山



5月に新型コロナの感染症法上の位置付けが5類に移行して、わたしたちの生活は元に戻ったところと新しい常識としてすっかり定着したところと様々ですが、そのような中、団体としてどうあるべきかを考えさせられた年となりました。第10期は、必要な人に有益なにもなりましたの間はること、そうした方々に長く寄り添えるパートナーとなるべく団体の継続性を担保していくこと、という基本に立ち返って、また新たな挑戦を支援させていただければと思います。理事





みなさんの力をお借りしながら、業務の効率化を 目指したいと思います。 事務担当 yuko

皆様のおかげで法人として節目となる 10期目を迎えました。久々の新刊も 発売することができました。今期もど うぞよろしくお願いいたします。 アドバイザリーサポーター 芦高

第 10 期のぷるすあるは

- ・新刊絵本『こころにケガをしたらートラウマってなんだろう?』が刊行されます(ゆまに書房, 2023 年 11 月)。
- ・絵本サポーターを通して絵本をひろげる取り組みをつづけます。
- ・ウェブサイトをリニューアル予定です。2015 年開設以来、初のリニューアルです。大工事です。 お越し下さった方が役立つ情報に届けられるように、この先の団体の基盤と なるように、重点的に取り組みます。

ぷるすあるはの情報発信

今動いていることがわかるまとめページ



子ども情報ステーション



オンラインストア



LitLink



Χ



facebook



youtube

Google Play で手に入れよう



instagram チアキの



TikTok

新規投稿できてません・・





ios



Android



ウェブ版

無料アプリ「おたすけことてん」

ぷるすあるはの活動を 寄付でサポートいただけたら とても心強いです!



NPO法人ぷるすあるは

第9期事業報告書 2022.10.1-2023.9.30

2023 年 12 月発行 〒338-0012 さいたま市中央区大戸 1-14-10-105 Tel / Fax 048-717-5639 https://pulusualuha.or.jp

